『インターネット技術を活用したマルチリンガル言語運用教育システムと教育手法の研究』,
基盤(B)(2) 課題番号 14310218, 東京外国語大学, 2005, 74-88.

フランス語文法プロファイル

川口　裕司
東京外国語大学外国語学部教授

１．文法プロファイルの対象者

フランス語の文法プロファイルは，大学などで初めてフランス語を学ぶ人を対象とし，1 年間の講義を 22 週間に設定し，その期間で初級のフランス語文法を学習することを目標にしている。ただし実際には 22 週間のうちの 1〜2 週間を文字と発音の学習にあてることを想定している。本プロファイルは全体で 112 個の項目から成っている。このため，毎週 2 時間の講義があるとして，22 週間で本プロファイルを修了するためには，各講義で約 3 つの項目を学習する必要がある。

本プロファイルの中に挙げられた初級文法を修了すれば，簡単なフランス語の新聞やエッセイの読解が可能になると考えられる。またフランス語でその日に起きた出来事や将来の予定などを日記風にまとめたり，簡単な手紙などを書くために必要な文法事項を身につけることができる。しかしながら，19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて書かれた文学作品を辞書を引きながら読むためには，本文法プロファイルにはない，さらに詳細な文法書や文法事典を利用する必要が出てくるであろう。

２．記述レベルに関する個別言語的特徴

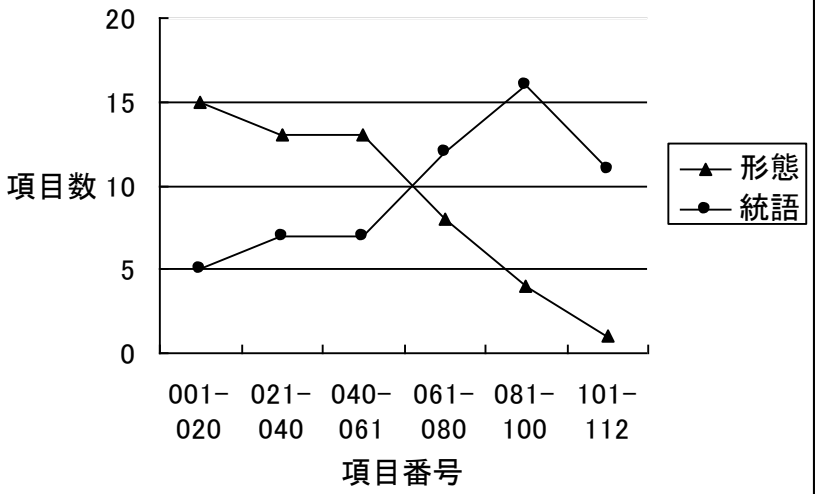
このフランス語の文法プロファイルでは形態レベルの記述と統語レベルの記述がバランスよく配置されている。全体としては形態レベルの記述が 55 項目あり，統語レベルの記述は 57 項目ある。右の図 1 を参照。

その配置には大きな特徴があり，全体が 112 項目から成っている文法プロファイルの中盤より以降，すなわち 61 項目より後では，統語レベルの記述が増加する傾向にある。これはプロファイルの内容を詳しく見れば一目瞭然である。

プロファイルの前半部は，名詞と形容詞の男性形・女性形，名詞および冠詞類の単数形と複数形，動詞の直説法現在形の活用など，いわゆる屈折形が中心である。これに対して後半部では，比較級，関係代名詞，仮定文，受身文，話法，使役動詞，強調構文などのような，句構成や構文に関する文法事項が多くなっているためである。

形態から統語へという記述の流れは，ポール・ロワイヤル文法以来のフランス語の伝統文法に特有の説明順序であると言えよう。

文法プロファイルの記述レベル （図1）



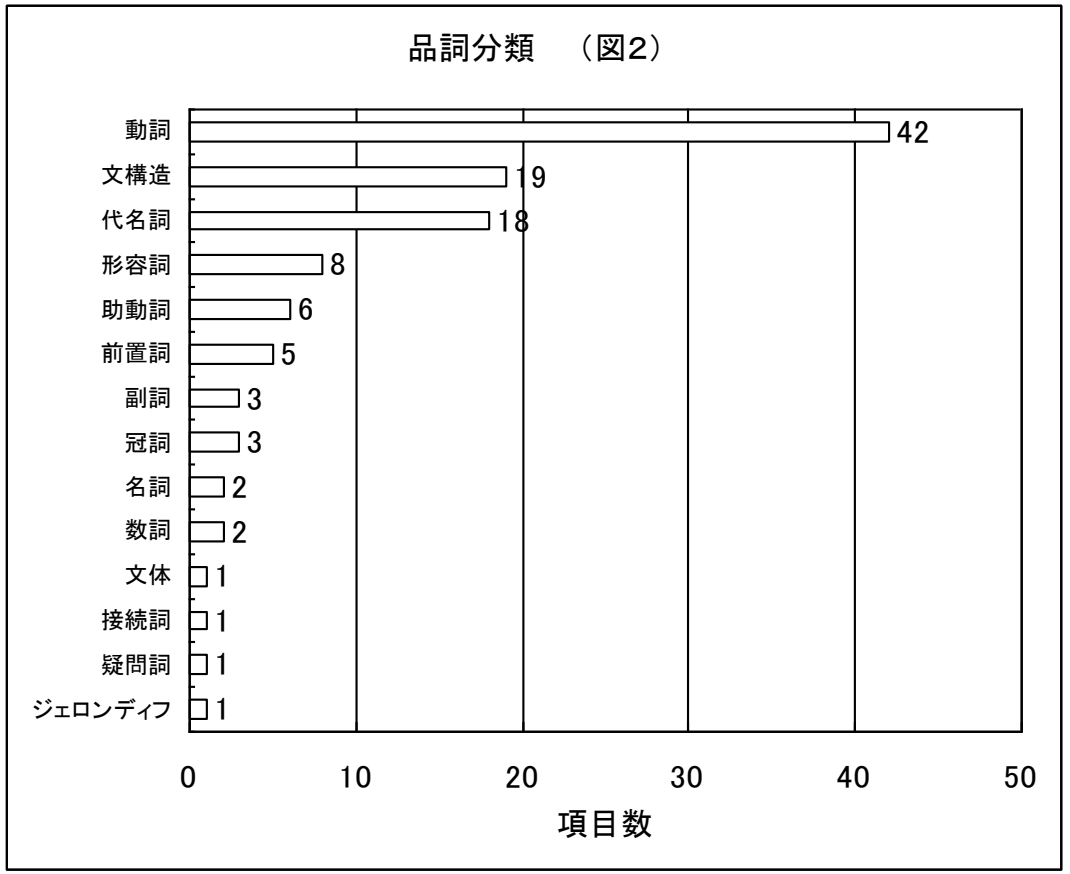
３．品詞分類とカテゴリー分類に関する個別言語的特徴

図２から明らかなように，フランス語の初級文法では動詞の活用の学習が大きなウェイトを占める。これはどの文法教本にも共通して言える特徴であり，中でも基本動詞の直説法現在形の活用が重要な位置を占めている。

本文法プロファイルで扱われる基本動詞は，基本的に *Fréquences d'utilisation des mots en français écrit contemporain,* Jean Baudot, Les Presses de l'Université de Montréal, 1992.に掲げられた頻度順位になるべく沿う形で学習されるようになっている。この語彙頻度調査は書記言語のデータをベースにしているが，最も基本的な動詞の頻度に関しては，話ことばにおいても，それほど出現頻度に大きな違いがないものと予想される。

次に項目数として多いのは文構造である。全体で 19 項目がある。従来の文法教材では文構造にあまり多くの項目を割いてこなかったように思う。とくに本プロファイルの特徴と考えられる項目を挙げておく。

「ものが主語になる構文」はフランス語と日本語の表現形式の違いとして重要な項目と考えられる。従来では特定の動詞を学ぶときに，そこで用いられた例文に現れることが多かった項目であるが，このように独立した項目として解説することは，必ずしも一般的ではない。代表的な例としては，以下のような身体の状況を説明するものがある。



Les yeux me piquent.　「目がチクチクする。」

Le dos me démange.　「背中がむずがゆい。」

しかしながら，この他にも Ce chapeau me plaît beaucoup.　「この帽子がとても気に入っている（＝この帽子は私にとても気に入る)。」のように日常会話においても頻繁に現れる表現がある。初級の段階でこれらを確実に学習しておくことは，よりフランス語らしい表現方法を身につける

ためにも重要である。

文構造に関する項目　　（図３）

項目番号	文法テーマ	カテゴリー分類
10	提示文 voici, voilà	提示文
13	主題文 C’est	主題文
17	存在文 Il y a	存在文
30	感嘆文	感嘆文
52	ものが主語になる構文	無生物主語文
81	仮定文－実際におこりうる仮定-	仮定文
82	仮定文－実際にはおこりえない仮定-	仮定文
87	受身文	受身文
88	間接話法（その１）	間接話法
89	間接話法（その２）	直接話法

項目番号	文法テーマ	カテゴリー分類
93	使役動詞	使役文
94	知覚動詞	知覚動詞文
105	強調構文（その１）	強調構文
106	強調構文（その２）	強調構文
108	時の表現	時間文
109	数量の表現	数量文
110	原因・結果の表現	原因・結果文
111	対立・譲歩の表現	対立・譲歩文
112	目的・条件の表現	目的・条件文

この文法プロファイルでは，知覚動詞も独立した項目に挙げた。これは助動詞や使役動詞などとともに不定詞をとる構文として重要である。このうち助動詞の項目には図２からわかるように，様々なものがある。可能を表す助動詞 pouvoir と savoir，願望の助動詞 vouloir，義務を表す falloir, devoir とともに，時制を表すもののうち，近接未来形と近接過去形も不定詞をとる基本的構文である。

品詞分類のもう１つの大きな特徴は，代名詞に多数の項目が当てられている点であろう。実際，代名詞はフランス語初級文法の難所の１つであり，初学者が苦しめられる文法項目である。本プロファイルでは 18 個の項目が代名詞に関連する。

代名詞に関する項目　　（図４）

項目番号	文法テーマ	カテゴリー分類
14	主語人称代名詞 être の現在形	主語人称代名詞, 直説法
31	代名詞の on	不定代名詞
37	人称代名詞（直接目的語）	直接目的語
38	人称代名詞（間接目的語）	間接目的語
43	人称代名詞強勢形	人称代名詞強勢形
57	代名詞 en	代名詞 en
65	疑問代名詞 lequel	疑問代名詞
66	指示代名詞	指示代名詞
74	関係代名詞 qui(主格）と que（目的格）	関係代名詞

項目番号	文法テーマ	カテゴリー分類
75	関係代名詞 où	関係代名詞
76	関係代名詞 dont	関係代名詞
77	代名詞 y	代名詞
80	代名詞 le	中性代名詞
90	ce qui と ce que の用法	代名詞・関係代名詞
92	関係代名詞 lequel	関係代名詞
95	不定名詞と不定形容詞	不定代名詞・不定形容詞
98	所有代名詞	所有代名詞
99	人称代名詞（間接目的語と直接目的語）の語順	人称代名詞

代名詞には，たとえば，人称代名詞と動詞の義務的な共起関係，代名詞の en と y に見られる人間と生物・無生物の区別，様々な形態の関係代名詞といった，フランス語文法の重要な特徴が含まれている。しかも「代名詞」の名称が包括する内容がたいへん幅広いという点にも注意する必要があろう。また，図４の項目番号から明らかなように，これらの文法項目は 112 のプロファイルの至るところに点在しており，学習者は頻繁に「～代名詞」という項目に遭遇することになる。これらの文法項目をどのように教えるかは，フランス語初級文法における重要な教育学的テーマと言えるであろう。

最後に，文構造として，時の表現，数量の表現，原因・結果の表現，対立・譲歩の表現，目的・条件の表現などを加えた。これらは形態上や統語上の文法規則ではなく，むしろ言語を用いてどのようなことを描出するかという言語機能に関わる項目である。従来の国内で出版されてきた文法教本では，こうした言語機能は独立した項目ではなく，接続詞表現などとともに教本の中の複数の箇所で個々に解説されてきた事項である。これに対して，フランス本国で出版された文法教本や練習問題では，これらの項目は一般に独立した項目を成している。したがって本プロファイルは日本の伝統的な文法教本とフランスの教本内容を組み合わせたシラバスとなっている。ただし，近年ではこうした言語機能を独立した項目として学習できるようにした文法教材も現れ手いる。[1]

[1] いわゆる文法読本と呼ばれてきた教材では，以前から機能的シラバスが採用されてきた。

４．内容に関する個別言語的特徴

内容に関する特徴としては，まず。主語人称代名詞の提示の仕方が挙げられよう。プロファイルでは，まず学習者にとって伝達上で最も重要な 1 人称単数の「私」と 2 人称の「あなた・あなたがた」を提示する。それが学習できた後で，全ての人称代名詞を教える。項目番号 14 を参照。こうした提示の仕方は個別言語的特徴ではなく，本プロファイルの特徴である。また，代名詞の on（項目番号 31）も独立した項目として立てた。この代名詞はフランス語に特徴的なものである。また on は以下の例に見るように，意味的に複数の人称代名詞の代わりをすることがあるため，全ての人称代名詞を学習した後で提示するのが望ましい。

On lui téléphone ?　「彼（女）に電話しようか？」（on は「私たち」の意味）

On vous demande au téléphone.　「あなたに電話がかかっています。」（on は不特定な人）

Au Québec, on parle français.　「ケベックではフランス語が話されます。」（「話される」というように受身を表す）

これも同様に本プロファイルの特徴であるが，一般に文法教本では強調構文としては，項目番号 105 のような c’est...qui や c’est que だけを提示し，106 番のような言語要素の移動による強調構文については解説されないことが多い。以下にその例を挙げておく。

Ce manteau, je peux l'essayer ?　「このコート、試着してもいいですか。」（目的語を文頭に移動）

Tu les as déjà finis, tes devoirs?　「もう終わったの？君の宿題。」（目的語を文末に移動）

５．文法プロファイルの課題・問題点（文法学習上の課題）

このプロファイルでは文法項目を中心に学ぶことを主眼としているため，言語機能についてのテーマが少ない。機能的なテーマとは，上に掲げた図３の右側にある，項目番号 108 時の表現，109 数量の表現，110 原因・結果の表現，111 対立・譲歩の表現，112 目的・条件の表現などのことである。しかしこれらの項目は初級外国語にとってたいへん重要な項目である。しかしにもかかわず，それらの項目が最後に付けたし的になっているのは，フランス語の文法はすぐれて範列（パラダイム）中心の構成になっているためである。形態変化と動詞活用は，たとえそれが必ずしもうまく習得されるとは限らないが，フランス語の文法構造の根幹に関わる部分であり，避けて通ることのできない項目である。

本文法プロファイルを作成しながら感じたのは，どのようにして範列中心の文法と機能中心の文法を上手に組み合わせながら，シラバスを設計してゆけば良いのかということである。この２つを適切に融合させた文法教材は，まだ目にしたことがない。もちろん本プロファイルもそれができていない。今後への大きな宿題と言うべきであろう。

６．参考文献

朝倉季雄. (2002).『新フランス文法事典』，木下光一校閲，白水社.
川口裕司，クリスティアン・ブティエ，川口恵子. (2000).『ゼロから話せるフランス語』，三修社.
川口裕司，フランソワ・ルーセル. (2001).『パリのフランス語入門』，三省堂.

Baudot, Jean. (1992). *Fréquences d'utilisation des mots en français écrit contemporain,* Les Presses de l'Université de Montréal.
Delatour Y. et al. (2000). *Grammaire pratique du français en 80 fiches,* Paris, Hachette.
Grégoire M. et Thiévenaz O. (1995). *Grammaire progressive du français avec 500 exercices,* CLE international.
Jubb, Margaret and Annie Rouxeville. (1998). *French Grammar in Context. Analysis and Practice*, NTC Publishing Group.
Klein, Hans-Wilhelm und Hartmut Kleineidam. (1983). *Grammatik des heutigen Französisch,* Ernst Klett Schulbuchverlag, Stuttgart/Düsserldorf/Berlin/ Leipzig.
Pougeoise, Michel. (1996). *Dictionnaire didactique de la langue française*, Armand Colin.

7．フランス語文法プロファイル（内容）

記述レベル	番号	文法テーマ	品詞分類	カテゴリー分類	内容
形態	001	名詞の性	名詞	性	男性名詞と女性名詞, 自然性との一致･不一致
形態	002	名詞の複数形	名詞	数	単数形･複数形, 原則 -s と原則の例外
形態	003	定冠詞	冠詞	定冠詞	男性形･女性形, 単数形･複数形, le, la, les
形態	004	主語人称代名詞その1	動詞･代名詞	主語人称代名詞(je と vous)	話者･聴者 je,vous
形態	005	être の現在形 (je, vous のみ)	動詞	直説法	je suis, vous êtes
形態	006	aimer, parler の現在形 (je, vous のみ)	動詞	直説法	第1群規則動詞 j'aime, vous aimez, je parle, vous parlez
形態	007	不定冠詞	冠詞	不定冠詞	男性形･女性形, 単数形･複数形 un, une, des
形態	008	avoir の現在形 (je, vous のみ)	動詞	直説法	j'ai, vous avez
形態	009	数詞 1-20	数詞	数字	un, une, deux, trois, ... vingt
統語	010	提示文	文構造	提示文	提示物の遠近 voici, voilà
形態	011	形容詞の性･数	形容詞	性･数	男性形･女性形, 単数形･複数形
統語	012	形容詞の位置	形容詞	位置	原則は前置
統語	013	主題文	文構造	主題文	C'est

形態	014	主語人称代名詞 être の現在形	代名詞･動詞	主語人称代名詞･直説法	je suis, tu es, il est, elle est, nous sommes, vous êtes, ils sont, elles sont
形態	015	avoir の現在形	動詞	直説法	j'ai, tu as, il a, nous avons, vous avez, ils ont
形態	016	疑問形容詞 quel	形容詞	疑問形容詞	男性形･女性形, 単数形･複数形 quel, quelle, quels, quelles
統語	017	存在文	文構造	存在文	il y a
形態	018	第1群規則動詞(-er 動詞) の現在形	動詞	直説法	第1群規則動詞 chercher je cherche, tu cherches, il cherche, nous cherchons, vous cherchez, ils cherchent
統語	019	動詞の否定形	副詞	否定形	ne..pas, ne…plus, ne…jamais, ne…que
形態	020	前置詞 à, de の縮約	前置詞･定冠詞	定冠詞の縮約	定冠詞の縮約形 au, aux, du, des
形態	021	部分冠詞	冠詞	部分冠詞	男性形･女性形 du, de la
形態	022	否定の de	副詞	否定形	pas de, plus de
形態	023	aller の現在形	動詞	直説法	je vais, tu vas, il va, nous allons, vous allez, ils vont
統語	024	疑問文	疑問詞	3つの疑問タイプ	イントネーション型、est-ce que 型、 倒置型
形態	025	数詞 21-99	数詞	数字	vingt et un, vingt-deux, ...
形態	026	pouvoir の現在形	助動詞	直説法	je peux, tu peux, il peut, nous pouvons, vous pouvez, ils peuvent
形態	027	命令形	動詞	命令法	Travaille! Travaillez! Travaillons!
形態	028	faire の現在形	動詞	直説法	je fais, tu fais, il fait, nous faisons, vous faites, ils font

統語	029	天候表現	動詞	直説法	il fait beau, il neige
統語	030	感嘆文	文構造	感嘆文	Quel.beau temps! Qu'il fait froid! Comme.il nage bien! Que de.voitures!
形態	031	代名詞の on	代名詞	不定代名詞	on の3つの用法
統語	032	前置詞 en, pour, par	前置詞	前置詞 en, pour, par	en hiver, pour handicapés, par la plage
形態	033	dire, voir, entendre の現在形	動詞	直説法	je dis, tu dis, ... je vois, tu vois, ... j'entends, tu entends, ...
形態	034	副詞 bien, aussi, très, encore	副詞	程度の副詞	Vous allez bien? Il travaille beaucoup. Elle chante très bien,
形態	035	指示形容詞	形容詞	指示形容詞	男性形・女性形, 単数形・複数形 遠近の中和 ce, cet, cette, ces
形態	036	所有形容詞	形容詞	所有形容詞	男性形・女性形, 単数形・複数形 mon,ma,mes, ton,ta,tes, son,sa,ses, notre,nos, votre,vos, leur,leurs
統語	037	人称代名詞(直接目的語)	代名詞	直接目的語	me, te, le, la, nous, vous, les
統語	038	人称代名詞(間接目的語)	代名詞	間接目的語	me, te, lui, nous, vous, leur
統語	039	近接未来形	助動詞	直説法	je vais, tu vas, il va + inf., 単純未来形との違い
形態	040	接続詞 et, ou, comme	接続詞	接続詞 et, ou, comme	et, ou, comme
形態	041	savoir と connaître の現在形	動詞	直説法	je connais, tu connais, ... je sais, tu sais, il sait, ... savoir と connaître の違い

統語	042	pouvoir と savoir	助動詞	直説法	pouvoir と savoir の違い
形態	043	人称代名詞強勢形	代名詞	人称代名詞強勢形	moi, toi, lui, elle, nous, vous, eux, elles
形態	044	vouloir の現在形	助動詞	直説法	je veux, tu veux, il veut, ...
形態	045	falloir, devoir の現在形	助動詞	直説法	il faut, je dois, tu dois, il doit
形態	046	partir, venir の現在形	動詞	直説法	je pars, tu pars, il part, ... je viens, tu viens, il vient, ...
形態	047	複合過去形	動詞	直説法	複合過去形の活用 助動詞 avoir と etre の区別
形態	048	過去分詞形	動詞	過去分詞形	過去分詞の作り方
形態	049	複合過去の用法	動詞	直説法	過去の事象, 現在における結果
統語	050	複合過去形と現在形の違い	動詞	直説法	時制の違い
形態	051	sentir, tenir の現在形	動詞	直説法	je sens, tu sens, il sent, ... je tiens, tu tiens, il tient, ...
統語	052	ものが主語になる構文	文構造	無生物主語文	体の状態表現 感情表現 原因や理由表現
形態	053	第2群規則動詞(-ir 動詞) の現在形	動詞	直説法	第2群規則動詞 je finis, tu finis, il finit
統語	054	前置詞 à, de	前置詞	前置詞 à, de	à +名詞, 動詞+ à de +名詞, 動詞+ de
形態	055	単純未来形	動詞	直説法	単純未来形 単純未来形の語幹・語尾
統語	056	単純未来形の用法	動詞	単純未来形	未来の出来事 軽い命令 不確実性や推測
統語	057	代名詞 en	代名詞	代名詞 en	不定名詞の代名化

					de ＋名詞の代名詞化
形態	058	croire, écrire の現在形	動詞	直説法	je crois, tu crois, il croit, ... j'écris, tu écris, il écrit, ...
形態	059	半過去形	動詞	直説法	半過去形の活用
統語	060	半過去形の用法	動詞	用法	過去の状態 過去の習慣 勧誘表現 si ＋半過去形 語気緩和 驚きや意外 過去における近い未来
統語	061	半過去形と複合過去形の違い	動詞	半過去, 複合過去	時制の違い
統語	062	近接過去形	助動詞	直説法	venir de +不定詞
形態	063	条件法現在形	動詞	条件法	条件法現在形の活用
統語	064	条件法現在形の用法	動詞	条件法	願望や希望 語気緩和 伝聞による推測 過去における未来
形態	065	疑問代名詞 lequel	代名詞	疑問代名詞	男性形・女性形, 単数形・複数形 lequel, lesquels laquelle, lesquelles
形態	066	指示代名詞	代名詞	指示代名詞	男性形・女性形, 単数形・複数形 celui, celle, ceux, celles
統語	067	優等比較級と優等最上級	形容詞・副詞・名詞	比較表現	plus…que, le/la/les plus…de, plus de…que, le plus de…

統語	068	劣等比較級と劣等最上級	形容詞・副詞・名詞	比較表現	moins…que, le/la/les moins…de
統語	069	同等比較級	形容詞・副詞・名詞	比較表現	aussi…que, autant de…que, meme…que
形態	070	mettre, prendre の現在形	動詞	直説法	je mets, tu mets, il met je prends, tu prends, il prend
形態	071	代名動詞	動詞	直説法	代名動詞の活用
形態	072	代名動詞の用法	動詞	直説法	再帰的用法 相互的用法 受身的用法 未来的用法
形態	073	不規則な-er 動詞	動詞	直説法	appuyer, mener, s'appeler, se lever, commencer, manger
統語	074	関係代名詞 qui(主格)と que(目的格)	代名詞	関係代名詞	qui, que
統語	075	関係代名詞 où	代名詞	関係代名詞	où
統語	076	関係代名詞 dont	代名詞	関係代名詞	dont
統語	077	代名詞 y	代名詞	代名詞	y
形態	078	大過去形	動詞	直説法	大過去形の活用
統語	079	大過去形の用法	動詞	直説法	過去における過去 過去との隔たり 過去の事実に反する仮定)
統語	080	代名詞 le	代名詞	中性代名詞	中性代名詞 le
統語	081	仮定文 ー実際におこりうる仮定-	文構造	仮定文	現在の可能性の仮定
統語	082	仮定文 ー実際にはおこりえない仮定-	文構造	仮定文	現在の事実に反する仮定 過去の事実に反する仮定

統語	083	前未来形	動詞	直説法	未来完了形の活用
形態	084	前置詞 après, avant	前置詞	前置詞 après, avant	前置詞 après, avant
統語	085	条件法過去形の用法	動詞	条件法・直説法	実現したいと思っていたこと 語気緩和や忠告・助言 過去における未来完了
統語	086	条件法過去形と 条件法現在形の違い	動詞	条件法	時制の違い
統語	087	受身文	文構造	受身文	être+過去分詞 on を用いた受身文 代名動詞を用いた受身文
統語	088	間接話法（その1）	文構造	間接話法	ce qui, ce que, 疑問詞
統語	089	間接話法（その2）	文構造	直接話法	平叙文 命令文 疑問詞のない疑問文
統語	090	ce qui と ce que の用法	代名詞	代名詞・関係代名詞	ce qui, ce que
統語	091	前置詞 en, dans	前置詞	前置詞 en, dans	手段 材料 交換
統語	092	関係代名詞 lequel	代名詞	関係代名詞	男性形・女性形, 単数形・複数形 lequel, lesquels, laquelle, lesquelles
統語	093	使役動詞	文構造	使役文	faire+不定詞 se faire+不定詞 laisser+不定詞
統語	094	知覚動詞	文構造	知覚動詞文	voir, écouter, regarder
形態	095	不定名詞と不定形容詞	代名詞・形容詞	不定代名詞・不定形容詞	quelqu'un, quelquepart, aucun, rien, n'importe qui, n'importe quoi

統語	096	現在分詞形	動詞	現在分詞	現在分詞の形態
統語	097	ジェロンディフ	ジェロンディフ	現在分詞	時間・様態 手段・原因 対立・譲歩
形態	098	所有代名詞	代名詞	所有代名詞	男性形・女性形, 単数形・複数形 le mien, la mienne, les miens, les miennes,…
統語	099	人称代名詞(間接目的語と 直接目的語)の語順	代名詞	人称代名詞	me le, te la, le lui, la leur, etc....
形態	100	接続法現在形	動詞	接続法	接続法現在形の活用
統語	101	接続法と直説法の違い	動詞	接続法・直説法	叙法の違い
統語	102	接続法の用法	動詞	接続法	感情を表す動詞 願望・義務を表す動詞 否定・疑問を表す動詞 que を伴なう表現
形態	103	単純過去形	動詞	直説法	単純過去形の活用
統語	104	単純過去形の用法	動詞	直説法	単純過去形の使用 昔話・伝説・物語の導入部 小説における過去の描写 報道文に特徴的な文体
統語	105	強調構文(その1)	文構造	強調構文	c'est…que, c'est qui
統語	106	強調構文(その2)	文構造	強調構文	文頭に移動 文末に移動
統語	107	話ことばの特徴	文体	話ことば	否定の ne, 主語の on, など
統語	108	時の表現	文構造	時間文	時間の言い方 Quelle heure est-il?
統語	109	数量の表現	文構造	数量文	背丈, 重さ, 回数などの表現

統語	110	原因･結果の表現	文構造	原因･結果文	parce que, puisque, car
統語	111	対立･譲歩の表現	文構造	対立･譲歩文	mais, pourtant, cependant, tandis que, alors que
統語	112	目的･条件の表現	文構造	目的･条件文	pour, afin de, pour que